

『それから』予告
夏目漱石

【テキスト中に現れる記号について】

《 》：ルビ

（例）大学生の事を描《かい》た

[#]：入力者注 主に外字の説明や、傍点の位置の指定

（例）それから [# 「それから」に傍点] である。

色々な意味に於てそれから [# 「それから」に傍点] である。「三四郎」には大学生の事を描《かい》たが、此《この》小説にはそれから先の事を書いたからそれから [# 「それから」に傍点] である。「三四郎」の主人公はあの通り単純であるが、此主人公はそれから後《あと》の男であるから此点に於ても、それから [# 「それから」に傍点] である。此主人公は最後に、妙な運命に陥《おちい》る。それからさき何《ど》うなるかは書いてない。此意味に於ても亦《また》それから [# 「それから」に傍点] である。

底本：「漱石全集 第十六巻」岩波書店
1995（平成7）年4月19日発行

初出：「大阪朝日新聞」
1909（明治42）年6月20日
「東京朝日新聞」
1909（明治42）年6月21日

初出時、「大阪朝日新聞」には「小説それから」として、「東京朝日新聞」には「新小説予告」「それから」として発表された。

底本のテキストは、初出（「東京朝日新聞」）による。

作品の表題「『それから』予告」は、底本編集部による。

底本には、初出のルビを「適宜削除した。」旨の記述がある。

入力：砂場清隆

校正：小林繁雄

2003年3月31日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。